

# みなみいせ 2009



外部監査報告	4
10人が 町政を問う	6~11
特集・鳥獣害	14



## 議会だより

平成21年  
6月定例会 第13号  
(平成21年8月1日発行)

発行 / 三重県南伊勢町議会  
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057  
編集 / 議会広報特別委員会

# 6月定例会

## 専決処分を承認

議会の承認を求める。

### 事件の内容

浮島パーク用地買収において、233万円の違約金返還したが、契約や法令に基づかない支払がなされた。

南伊勢町長は、この判決を不服として控訴の提起をする。

### 質疑

本議案は、緊急執行を要したので、専決処分書のとおり処分したので、



浮島パーク

ころ、手ぬかりがあった。このことについては、今後の反省にしたい。

と思う。

### 討論

#### ● 反対討論 ●

**西則孝議員** 専決処分は、本来、町長により慎重な考え方のもとで進める必要があるが、今回の場合、私はこの要件を満たしていないと判断する。慎重な配慮がないことで、議会の存在そのものの意味がなくなってしまう。今回、制度の趣旨を逸脱したというふうには私は思う。よってこれに反対する。

#### ● 反対討論 ●

**上村康広議員** 議会として、町行政を質していく。そして間違った方向に行かないように、監視機能の本来の議員が持つ役割、議会が持つ役割、これを全うしていこうとするならば、この専決処分には賛成できない。そしてそれが、本来、議員が果たさなければならぬ役割かなという思いがあり、反対する。

### 採決

賛成多数9対6で可決。

#### ● 反対討論 ●

**手塚征男議員** 浮島問題は、南島町時代から法を無視する形で進められてきた。今回の専決処分でも、法律や規則を無視して行われてきており、間違っている。

### 討論

#### ● 反対討論 ●

**手塚征男議員** 総務費の投票人名簿システム構築委託料199万円の内容が、憲法を変えるために必要な名簿システムと聞いて驚いた。今回、何気なく出されたこの議案に賛成したらどうなっていくか。憲法改正に反対の全国的な声が広がっている中で、この内容に賛成できない。

#### ● 反対討論 ●

**岡田和夫議員** いまの憲法を変えようというのは、アメリカであったり、兵器を作ったり海外に売っている人たちが、自衛隊を海外派兵しようという人たちが言っているものだ。憲法が一旦変えられると、簡単には戻せない。今の自民党、あるいは憲法を改正しようとする民主党も含めて、この国民投票法を各自自治体にするように言っている。私は憲法を改正する必要はないと思うし、今の憲法を守って国民の暮らしと平和を守る、そういう方向で頑張るために、この国民投票を実施するための補正予算には賛成できない。

### 採決

賛成多数14対2で可決。

その他の議案等はすべて可決承認されました。

出であり、南伊勢町に対して損害を生じさせたとして、南伊勢町長が訴えられていた事件で津地方裁判所の判決で、稲葉輝喜に対して233万円を支払うよう請求せよと判決がなされた。

南伊勢町長は、この判決を不服として控訴の提起をする。

法の規定により、議会を召集する暇があったし、召集する権利が町長にはある。そしてそれに議員が応じなかつたら専決でやってもらって結構だ。今回の場合、召集しなければならなかったはず。少なくとも、召集に応じてくれるかどうか、議長に打診はしたのか。

事前に、議長に相談させていたか。

### 質疑

本来、専決は緊急の事故などがあってやむをえない場合に町長が議会を通さずに決めることができるというものだが、今回は十分に日程的にも予測できたはずではないか。

ための調査費としていた。議員 備品購入費の930万円が、どういうものか。

**福祉課長** ワゴン車2台と乗用車1台を予定している。ワゴン車は、リフトアップシート車という、障がい者の方でも低い位置で乗せられるタイプのもの、役場に1台、社会福祉協議会に1台配備する予定。乗用車も、障がい者の方の家庭訪問に使用することで認められたものである。

**議員** 看護師育成の修学資金予算だが、一人しか応募がなかったため、360万円の予算のうち300万円が減額になっていく。予算があるなら、今から年度途中ででも申し込みできるようにすべきでないか。

**教育課長** 今後、もう事例が出てきたら、選考委員会で検討しながら進めていきたい。

**議員** 農業生産基盤整備の予算で、重機の借り上げの予算があるが、長いスパンで考えると、重機を買い上げて貸すというようにするほうが安く上がるのではないか。



元気な子供達

**議員** 農業生産基盤整備の予算で、重機の借り上げの予算があるが、長いスパンで考えると、重機を買い上げて貸すというようにするほうが安く上がるのではないか。

**町長** 機械をフルに使うならどうなるか、一度検討させてもらいたい。

6月16日～19日まで6月定例会が開かれました。今議会の議案は、

- ① 専決処分の承認
  - ② 税条例の一部改正
  - ③ 一般会計ほか6会計の補正予算
  - ④ 工事請負契約の変更
  - ⑤ 「地震対策緊急整備」における意見書提出などでした。
- 主な議案での質疑、討論の内容を紹介します。

### 専決処分の承認

### 専決処分について

本議案は、緊急執行を要したので、専決処分書のとおり処分したので、

### 一般会計補正予算

**町長** 一般会計補正予算(第3号)は、6千300万円を追加して、予算総額を77億3千724万円とするものである。

### 質疑

**議員** 集落支援員報酬費として97万円が計上されているが、この制度は7月1日から発足するのだから、

**行政経営課長** 地区連絡員制度と集落支援員制度ともに、7月1日からスタートしたい。

集落支援員制度は、高齢化比率が50%を超えている地区を対象に行うもので、南勢地区で1地区、南島地区で5地区ある。そこに集落支援員を配置するものである。

支援員としては、行政経験者、漁業・農業業務経験者、地域の実情に詳

しい人材の活用をさせていただきたい。

**議員** 選挙管理委員会費の投票人名簿システム構築委託料として、199万円がある。これは、これまでの選挙人名簿とどう違うのか。

**総務課長** 平成19年に「日本国憲法の改正手続きに関する法律」、いわゆる「国民投票法」が公布された。そして22年5月18日からこの法律が施行されることから、そのための投票システム構築ということである。

**議員** 新エネルギーの調査研究費として420万円上がっているが、具体的には、町内では間伐材を利用した木材チップを考えているのか。

**行政経営課長** 間伐などで発生する材料を活用していきたいと計画では考えている。調査としては、資源の基本データ調査とか、採算性、実行計画作成事業計画への推進方策の

進めていきたい。

これは国民投票をするためには選挙人名簿を作っておく必要がある。憲法に規定がある以上、手続き法案は作っておかないと、国民の権利である国民投票ができないことになる。手続き事項を作っておくということなので、国からの予算で対応することだと思っております。これには賛成する。

**山本周也議員** 国民投票をするためには選挙人名簿を作っておく必要がある。憲法に規定がある以上、手続き法案は作っておかないと、国民の権利である国民投票ができないことになる。手続き事項を作っておくということなので、国からの予算で対応することだと思っております。これには賛成する。

**議員** 農業生産基盤整備の予算で、重機の借り上げの予算があるが、長いスパンで考えると、重機を買い上げて貸すというようにするほうが安く上がるのではないか。

**町長** 機械をフルに使うならどうなるか、一度検討させてもらいたい。

**議員** 農業生産基盤整備の予算で、重機の借り上げの予算があるが、長いスパンで考えると、重機を買い上げて貸すというようにするほうが安く上がるのではないか。

**町長** 機械をフルに使うならどうなるか、一度検討させてもらいたい。

# 不明金6445万 真相は究明されたのか？

## 外部監査報告

町長との契約により、昨年8月から実施された個別外部監査人の監査報告書の提出がありました。議会はこの報告を受けて、6月定例会で監査人と報告内容について説明を受けるとともに、質疑を行いました。

町長との契約により、昨年8月から実施された個別外部監査人の監査報告書の提出がありました。議会はこの報告を受けて、6月定例会で監査人と報告内容について説明を受けるとともに、質疑を行いました。

金先は、すべて収入役口座ではない「55×××」の口座と指定されている。

### 監査報告の 主な内容

- ① 監査対象期間  
昭和61年4月1日～平成元年3月31日まで
- ② 主な監査対象  
① 100条調査委員会の調査において収集された資料の調査  
② 登記簿の取り寄せ及び、その内容の調査  
③ 百五銀行五ヶ所支店に

- ④ 南勢町時代の予算書の調査
- ⑤ 決算書の調査
- ⑥ 南勢町収入役名義の普通預金口座の調査
- ⑦ ラッツアンドスターの公演に関する記録の調査
- ⑧ 新聞記事の調査
- ⑨ 三重県出納局長の回答書の検証
- ⑩ 関係者（4名）からの事情聴取

- ③ 「55×××」の口座は、少なくとも昭和61年から平成元年ころまで「南勢町長山本善昭」名義で存在した。（開設の年月日、閉鎖の年月日は、資料等がなく明らかにできない。）
- ④ この口座の通帳は、南勢町の建設課で管理されていたが、現実には一職員が中心となって手提げ金庫に入れて管理され、部下の数名の職員が知るのみであり、南勢町役場内でもその存在を知る者は一部に限られていた。

- ⑤ 本件各契約の土地の売却代金のすべてが、決算書の土地売り払い代金中に含まれている可能性は全くない。

- ⑤ 監査の結果  
水産振興祭りに使用されたという200万円を差し引いた後の6千238万円は、正式には南勢町に入金されていないものと推認せざるをえず、官官接待等に裏金として使用されたか、私的に使用されたものと推認せざるを得ない。



旧南勢庁舎

### 監査報告に 対する質疑

**議員** 当時、役場ぐるみで、全体とは言いませんが、悪事がなされていたとしか言いようがないけれども、監査人はどのように思われるか。

**外部監査人** 町ぐるみでが考えられないかといえ、考えられないという証拠はない。では町ぐるみと考えられる証拠があるのかといったら、それもないということだ。最後の結びに記載したように、「20年を超える年月の経過という壁の大きさを実感させられた」というところだ。

**議員** 昭和61年から平成元年までの収入役口座について、直接これを調べられたのかどうか。

また、国民年金基金用の口座の通帳が4、5年

分無くなっているとしても、決算書に入金が無いことが確認されていることは、口座への入金が無かったという結論でよいのかどうか。

**外部監査人** 収入役口座は、重要性をかんがみて全部写しを取ってもらい、全て中を確認している。決算書には本件の土地の売却代金、すなわち県から入ってきたお金としては一切上がっていない。

**監査人補助者** 国民年金の口座からは、決算書には上がってはいない。

**議員** 100条調査の監査人の調べた部分で、大きな違いという部分は何かあったのかどうか。

**外部監査人** 銀行とのや裏口座がいつまで存在したかどうかについて、最終的には平成3年8月26日以前であって、理屈で

はそのときまで存在しえたというあたりが、恐らく100条委員会さんの認識と違うのではないかと推測している。

**議員** 元職員が、裏口座の通帳を解約して、残高がゼロになったことは記憶にあるが、解約手続きを誰がしたのか

か記憶にないという件がある。一方、当時の町長が、すぐ口座を廃止するように指示したというふうにあつて、両者の話がここでこの裏口座が終わったという点では一致していると思う。監査人の見識を確認したい。

**外部監査人** 裏口座が解約されて残高がゼロになったという件は、元職員さんが断言的にいっているのだから、通帳の記載残高がゼロになっているのは見たという念押しをしているわけではないので、元職員の説明は曖昧といえれば曖昧だ。

**外部監査人** 元職員が自ら収入役口座に振り替えていたという件があるが、この振替の行為を行ったのは誰だったのか、このことは確認されたか。



議場

**議員** 通帳がゼロになったことが記憶にあるということは、解約してゼロになったから後に通帳を見たということになるのではないのか。通帳がゼロになるといふことの認識をしようと思つたら、通帳を見る以外に一般的にどういう方法があるか、見識を伺いたい。

**監査人補助者** 一般的に、通帳を見るということになると思う。それ以外には、銀行に問い合わせるかだろうと思う。

**議員** 100条調査委員会が到達していた調査の状況について、どのように感じになったか。委員会の資料など見られてどのように思われたか、感想だけお聞きしたい。

**議員** 年度末に、丸い数字で裏口座か

**外部監査人** 資料を読まいて、皆さん非常に努力しておられるなあというところは感じている。ご苦労さんと申し上げておきたい。

# 10人が 町政を問う

## 一般質問

**岡田和夫**



**間伐促進事業の  
推進を**

**岡田** 林業の間伐促進事業で、個人負担はどのくらいになったのか。

**産業振興課長** 国・県で85%の補助があり、残りの15%を町と森林所有者で7・5%ずつ負担するという考えだ。

**岡田** 1町歩当たり、個人負担は3万円〜4万円くらいで事業をしてもらえるというところか。

**産業振興課長** だまかにはそのくらいだ。標準的な金額は

すぐ出せるので、産業振興課の農林係に相談いただきたい。

**インフルエンザ  
対策は**

**岡田** 今後の南伊勢町のインフルエンザへの備えについて、担当課はどのように考えているのか。

**福祉課長** 南伊勢町版の行動計画を、総務課、福祉課の2課で策定している。秋以降の新型インフルエンザの流行もあると聞いているので、大阪とか神戸市の例を見ながら、十分な対策をとっていきたい。

**裁判結果を  
どう受け止めるのか**

**岡田** 浮島パークの用地買収における違約金返還問題の裁判で、津地裁は町長の主張は全

面的に退けられた判決を出した。町長は、この結果をどのように受け止め、今後どのように対応するのか。

**町長** どう考えても判決の内容は容認したい。昔からの知人である弁護士にもアドバイスをもらい、上級審の判断を仰ぎたいの思いが強く、期限ギリギリに控訴することにした。



町立南伊勢病院

**中山 盛**



**わかりやすい予算説明書の  
作成 配布を**

**中山** 本来町の予算というものは、町民の皆様のものであり、

町には予算を分かりやすく町民の皆様に説明する義務があるものと考えられているのか。

**町長** 基本となる予算の町民の皆さんに知っていただくことが大変大切なことで、一度先進事例も参考にしながら、しっかりと検討していく。

**総括兼行政経営課長** 平成22年度の予算から、分かりやすい予算説明書を、先進事例も参考にしながら作成し、出させてもらいたい。

**中山** 時期的にはいつごろから考えているのか。



見やすい予算説明書

**澤村 圭也**



**校舎の  
ひび割れは**

**澤村** 南島西中学校の校舎全体のコンクリートにもひび割れがあったが、町として校舎のひび割れに対して点検・補修はどのように行なわれたのか。

**教育長** 外壁調査については、昨年テストハンマーによるダウン調査を行なったが、大規模な浮きは見られないとの報告があった。

**待ち望む樋門は**

**澤村** 磯浦は、高齢化率が50%を超えている地区なので、少しでも早く、水門・樋門の整備、補修をしてもらいたい。

**町長** 平成22年度より事業に着手すべく、先月、水産庁に対して新規事業の概要要求書を提出したところである。

**住みよい町づくりは**

**澤村** 町を存続するには若者が定住する町づくりが緊急課題だ。施策として、子供を産み育てやすい町づくりが必要だ。町も島根県の海士町のように子育て支援を充実するべきではないか。

**町長** 次世代を担う財産として子供を安心して生み育てることができ環境づくりに積極的に取り組んでいく必要がある。



腐食が進む樋門

## 西 則孝



### 高齢者の生きがい作りは

**西** 高齢者の生きがい作りを今後どのようにするのか。

**町長** 今後も、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションを含め社会参加の促進をはかりたい。また介護を受けなくてもいいような生きがい作りが高齢者の対策の重要な柱であると考えている。

**西** 健康で生涯現役で暮らせるための施策とは。  
**町長** 高齢者の方々が生産されるものを販売する青空市などは。

充実が必要になると思う。

### 両地区の融和は

**西** 南勢地区、南島地区の融和対策の今後は。

**町長** 今年度は両地区が一同に会しての催しは予定していないが今後、町民が参加できる町民体育大会や、駅伝大会などが必要と考えている。

**西** このような催し事の主体はどのような形態が望ましいのか。  
**行政経営課長** 住民の皆となり、行政との協働という形が一番望ましいものと考えている。

### 火葬場の新築移転は

**西** 飯満地区にある火葬場の新築移転についての考えは。



飯満の火葬場

**町長** 現時点で早急な新築移転の考えはないが、相当老朽化の進んでいる施設と認識している。今後統合新設するかどうか検討したい。

**西** 利用者より待合室、駐車場の狭さの指摘があり、また付近の住民より黒煙の苦情が寄せられているがこれらの対応は。

**町長** 黒煙については早急に調査し、対応したい。

## 上村 康廣



### どうなる過疎化

**上村** 過疎化の原因として少子化、産業不振、教育問題等が考えられるが、現在までの施策と今後の施策について伺いたい。

**町長** 年間400人ずつ減少、その内訳は死亡の自然減約47%、転出転入等の社会減が53%となっている。両町合併後、特に産業の振興、交通通信体系の整備、生活環境の整備等に重点を置き、過疎法の支援措置等を有効に活用しながら、過疎地域脱却のため、様々な施策を推進してきた。今後も努力していきたい。

### 南島メディカルいつ完成か

**上村** 南島メディカルセンターを今後どのように考えているのか。敷地が旧南島中学の広い立地であれば、病院老健、高齢者住宅の施設が建てられて、町民だれしも安心して暮らせる場所になるのではないかと考えている。本年度、設計している。旧南島中学校は取り壊しの方向で予算化されており、土地の有効活用していくことが大切なことだと認識している。

**町長** 公設民営化という形で話を進めている。本年度、設計している。旧南島中学校は取り壊しの方向で予算化されており、土地の有効活用していくことが大切なことだと認識している。



南島メディカルセンター

## 脇海道耕一



### みなさん車に気をつけて

**脇海道** 国道200号線船越地区内の道路は大変危険である。30km制限の標識を明確に提示してほしい。

**町長** 四季の交通安全運動期間に、牛鹿の前からサニー道路の交差点までの区間で交通安全早期街頭啓発事業を実施し交通安全啓発に努めている。標識は地区の子供会が作成したものを合わせると15箇所設置している。

### 猟期の延長を

**脇海道** 奈良県のように15日まで1か月延ばせないか。シカの出没が大変多く、田畑や道路へ現れ車とぶつかる事が非常に多い。何故標識を付けないのか。

**町長** 各都道府県の独自の判断で猟期の延長が可能である。

**産業振興課長** 道路管理者の県と協議をさせていただく。

### 五ヶ所中学の取り壊しは

**脇海道** 五ヶ所中学校の取り壊しはいつから始め、いつ終了するのか。照明設備を南勢中学校の方へ設置できないのか。

**教育長** 各種団体の利用等を考慮し、10月以降に取り壊しをする。南勢中の夜間照明施設については、今のところ設置する考えはない。

## 橋本 剛匠



### 地方分権への取り組みは

**橋本** 地方分権を進める上で、住民との情報共有、住民参加が基本であると思うが、これについての認識と具体的な取り組みについて伺いたい。

**町長** 住民との情報共有と住民参加による町づくりは基本であると考えている。

町を取り巻く環境は、人口の減少、高齢化の進展に伴い、生活交通手段の不足、空き家の増加、耕作放棄地の増加など、様々な問題が生じており、これらの問題は今後、一層深刻化する恐れがある

### 橋本 剛匠

住民参加の基本的な考えは、要望を吸い上げるだけでなく、住民の協力、参加がないとやっていけないと思うが、町長の考えはどうか。

**行政経営課長** 行政が一方的に地域に出ていき、地域の実情や課題を取り上げるだけでなく、協働という言葉の中で、地域でやっていただくものと、行政がやるものとを区別し、役割分担をしながら進めていきたい。



切原コミュニティセンター



国道260号船越地内

## 山本周也



### 今後の町行政の在り方は

**山本** 町長は、住民の満足度を上げ、住民サービスを充実させていくというが、どのような姿勢で今後、町行政に臨んでいくのか。

**町長** 地域担当連絡員の仕組みを立ち上げ、行政が住民の真に望むことを把握していきたい。その中でできることは何か、できないことは何かを選別したい。

**山本** 今後の生活環境への対策をどう考えているのか。

**町長** 南伊勢町の恵まれた自然と、良好な生活環境を確保するには、町民が健康で文化的な生活を営むうえで非常に重要なことだと思う。ごみの減量化や、資源化への取り組みを、住民、事業者、行政の三者連携を一層強くしたいと思っている。既存の施設の適正管理や施設の集約化に

高まっていくと考えている。

**山本** 町長の産業振興への考えはどうか。

**町長** 町の再生の方策を一次産業に求めているが、厳しい局面が続いている。農林水産業に従事している方々の生産意欲が増大するような施策を関係機関とも協議しながら、産業振興に取り組んでいきたいと考えている。

ついて検討を行っていく必要があると考えている。

**山本** 福祉関係の対策はどうか。

**町長** 医療、保健、福祉の連携に加え、住宅や公共施設のバリアフリーを基礎とした町づくりや、さらに教育との連携も充実して行かなければと考えている。

### 今秋の町長選出馬は

**山本** 今秋、町長の任期が満了となり、町長選が行われる。稲葉町長は、再出馬するの

**町長** 南伊勢町の町づくりにかける思いは、いささかも揺らいでいないが、73歳という年齢でもあり、この町を良くしていきたいという強い気持ちを持った方が出てこれれば、一人の南伊勢町民としてその方をしっかりと支援していきたいという思いである。

## 山本善昭



### 五ヶ所保育園の新築移転は

**山本** 現在の五ヶ所保育園の立地場所は、津波の恐れや広い場所を考慮して建設されたと聞いている。ところが現在、父母の方の意見で、不便で荷物を持ちながら子供を連れて上まで上がっていくのは大変であり、時間もかかると苦情が出ている。この声が町に届いているか。それをどのように受け止めているのか伺いたい。

**山本** 五ヶ所園の今後の対策として、旧五ヶ所中学校跡地に、船越、神原の保育園も集約し新築する考えはどうか。

**町長** この地域の拠点として素晴らしい立地条件の場所と認識し、それが理想であると私も思っている。

### 教育の目的をどう考えるか

**山本** 教育とは何のためかという目的感について、またわが町の青少年の教育や社会教育、生涯教育について伺いたい。

**教育長** 教育とは、幸せと人間が生きていくための力をつけるためと考えている。わが町の青少年の教育、社会教育については、それを最終目標にして、それぞれ持ち味を生かして粛々とおこなっていると考えている。



五ヶ所園

## 手塚征男



### 消防ホースの点検を

**手塚** 消防ホースの保管庫点検整備は進んでいるのか。

**総務課長** 早急に調査し、ことを進めていきたい。

### 転落防止柵を

**手塚** 急傾斜地高台の生活道路の安全対策はどうとられるか。

**総務課長** 転落防止柵の検討を進めている。

### サル被害の対策を

**手塚** サル被害対策をどう考えているのか。

**産業振興課長** 年間約200頭近く駆除は行ったが、県の鳥獣保護管理方針の計画を基に対策を講じた。

### 診療所の再開を

**手塚** 古和浦・阿曾浦の診療所再開の見通しはどうか。

**福祉課長** 診療所への医師の配置は難しい状況である。

### 下水道工事が原因か

**手塚** 神前地区下水道工事で発生した人家の傾き被害。町とし



阿曾浦診療所

### 不明金の解決を

**手塚** 6千445万円の不明金問題は職員の中で起こった不祥事、犯罪的行為、町長は町民の納得できる解決をしてほしい。

**町長** 在職中に何とか解決付けられたらと思う。

## 「わかりやすく」「ありのままに」

### 広報特別委員会視察研修

7月6日、7日の2日間で愛知県の大口町と、静岡県の長泉町へ視察研修を行いました。

この研修の目的は、地方分権が進む中で執行機関に対する議会の監視や、チェック機能など、議会の果たすべき役割がますます大きくなっており、

議会で審議されたことを「わかりやすく」「ありのままに」伝える広報誌をつくるためです。

大口町では「わかりやすい」ことの具体的な手法を研修しました。

特に難しい言葉は極力使わない、文章は短く、結論を先に、等の点が参考となりました。



長泉町では、議会だよりをみせていただいて特筆すべきは、空白部分の取入れ方と、ゆったりの紙面づくりが、素晴らしいと思いました。

読者が、まず見てやろうという気になっていただくことの大切さを教えられました。



両町の議会だより作りの基本的な考えは、まさしく「わかりやすく」「ありのままに」のため非常に努力されておりました。

ぜひ本町でも取り入れたいと思います。

# テーマはより良い町づくり

今回は各議員の希望する視察先を選び、3班に分かれて行政視察を行いました。  
(長沼町、ニセコ町は、1・2班で合同視察を行ないました)

(3班) 参加議員：倉田珠文、脇海道耕一、手塚征男、岡田和夫、沢村圭地、西 則孝  
行 先：島根県海士町、徳島県上勝町、高知県馬路村  
日 程：6月1日～4日 4日間

3町村の視察目的は、産業の活性化によって町づくりを進めている行政の取り組み状況を見ることでした。

## 島そのものをブランドに

島根県海士町は、境港から高速船で1時間半の、隠岐ノ島にある人口2,400人の町です。  
この町がテレビ、新聞で注目されるようになったのは、産業の活性化による町起こしに成功してからです。  
島で獲れたイカ、養殖の岩ガキなど魚介類を、CASという新技術の冷凍施設を導入して東京市場に送るようになり、ブランド化に成功したこと。

公共事業の減少により、建設業を営む経営者が隠岐牛の肥育を始め、東京市場へ送るブランドに仕上げたこと。ほかにも、海士の塩、黒なまこ、海藻類など、島を活かした起業を次々成功させています。  
その成功のコツは、町長が先頭になり、職員とともに起業と若者定住の対策を考えだし、努力していることです。

都会から海士町へ若者が移住するようになるなど、小さな町が活性化しています。

## 困難の向こうに成功あり

徳島県上勝町は、「葉っぱ」をお金に換える町で有名になりました。  
「彩」という第三セクターの会社では、毎日、全国の40か所以上の市場に、南天、モミジ、ハスの葉など、年間を通して300種類以上の葉っぱを料理に添えるツマ用に出荷しています。  
出荷額の多い家では、毎日3万円～4万円、月に100万円もの出荷をしています。  
もともとこの町は、温州みかんの産地でした。それが昭和56年2月のマイナス13度の寒波で温州ミカンの木が枯れ死し、その後今の「葉っぱ」を商品化することを考え出したのです。

今では、80歳～90歳代の高齢者までが、元気で葉っぱの出荷に携わり、そのおかげで、お年寄りが元気になってきている町になっています。

## ユズ一筋に生きてきた村

高知県馬路村は、人口が1,000人の村です。元は杉材の有名な村でしたが、今は「ユズの村」で全国的に有名になりました。

馬路村の産業の中心はJA馬路で、JAはユズをそのまま出荷するのではなく、蜂蜜入りの飲料、ユズ入りのポン酢商品を中心に、ユズ味噌、ユズマーマレード、ユズゼリー、化粧水など、多くの商品を開発し、その出荷額は年間33億円にもなっています。1,000人の村で、33億円の出荷をし、その工場が村人がユズの出荷の合間にも働いています。



馬路村土産物店

ユズだけでなく、杉材を加工した土産品や、住宅建設にも力を入れたり、これら商品を全国の消費者と通信販売でつながり、常に顧客を広げる努力をしている点が素晴らしいのです。

これら3町村は、小さくても合併に頼らず、産業と町おこしによって町を維持し、若者の定住に力を入れています。

わが南伊勢町のこれからの町づくりの方法はこの3町村から学ぶことも大きいものがあります。

(1班) 参加議員：橋本剛匠、山本善昭、中山 盛  
行 先：北海道の長沼町、ニセコ町、蘭越町  
日 程：5月25日～27日 3日間



長沼町の農家民宿の家

## 町民参加の町づくり

3町はそれぞれ、主幹産業である農業を活かしたグリーンツーリズム、町づくり条例による町民参加を基本とした町づくり、バランスシートの早期導入による財政の見直しなど、全国に先がけた町づくり、町おこしを実施しており、短期間ではありましたが、すぐれた行動力を伴った行政の姿をかいま見ることができました。



住民に示す予算概要書

今後はこの研修で得たものを議会を通じて行政に働きかけ南伊勢町の町づくりに活かしたいと考えます。

※ グリーンツーリズムとは、農家民宿を中心として体験交流を図るものです。農家が体験者を家族の一員として迎え入れ、農業体験はもちろん、寝具の上げ下ろしや食事の準備なども一緒にやり生活と共にする等です。

(2班) 参加議員：山本周也、山本嘉昭、田中廣光、上村久仁、松葉和久、東 伊久雄  
行 先：北海道の長沼町、ニセコ町、岩内町  
日 程：5月25日～27日 3日間

## 深層水の利用で町おこし

北海道の日本海側に面した町、岩内町は、海洋深層水を利用した町おこしが盛んです。  
深層水をくみ上げ、それを産業に活かすために、町は「地場産業サポートセンター」を建設しました。そしてセンターでは、深層水を利用した商品開発への技術支援や、商品のPR支援も行っています。

サポートセンター内には、深層水を一般の人に販売する施設や、企業用として大量の深層水を販売する施設もあります。

深層水の利用は、センター内で商品開発が積極的に行われており、水産加工や農業利用など120件余りの起業登録もされています。

しかし、深層水の利用と開発はまだこれから分野であり、冷熱エネルギーとしての利用や、養殖業への低水温環境の利用、深層水の清浄性の活用など、地元漁業への活用が本格的に進められるようになっていきます。

南伊勢町ではこの町と同じことはできませんが、町の特徴を生かした新しい取り組みに挑戦することが必要ではないでしょうか。

# その後

## どうなった？ どうなってる？

議員の一般質問等でとりあげられた事柄について、その後の動きについて追跡調査しました。

質問	経過および結果
<p>礪浦にあるデイサービスセンター「和」を安全な南海保育園の敷地に移転することについての検討結果はどうなったか？</p> <p>(平成20年3月定例会)</p>	<p>現在、社会福祉協議会ともしっかり協議させていただいております。共通の認識のもとに進めていきたい。(福祉課)</p>  <p>「和」なごみ</p>
<p>南海地区の下水道計画のみ直しや検討の結果、どのようになったのか？</p> <p>(平成20年6月定例会)</p>	<p>今年2月に迫間浦地区において説明会を開催した所がありますが、今後南海地区における排水処理計画は、下水道と戸別合併浄化槽での方法で手続きをすすめていきます。(上下水道課)</p>  <p>迫間浦</p>
<p>観光産業について南伊勢町は今後、どの程度予算面に力を入れていくのか、検討された結果はどうか？</p> <p>(平成20年6月定例会)</p>	<p>観光は地域振興の重要な施策の一つです。21年度では、観光担当職員を増員し、観光費は前年対比約500万円の増額予算となっております。今後も財政面を考慮した上、必要な予算は計上していきたい。(行政経営課)</p>  <p>この自然を生かしたい(鵜倉半島)</p>

# 鳥獣害を阻止への努力

全国的な大問題となっている鳥獣の被害について、我が町での被害の現状とその対策、今後の問題点や解決の方法について特集しました。

### 止まらない被害

特に近年において日常的にサル、イノシシ、シカの被害が絶えません。本町議会においても各議員の一般質問等で、獣害の現状とその対策についての質問が多く出されました。写真のように、稲作や、水田の石垣が壊されたり、みかん、野菜作



電柵とネット、これでも入る



イノシシの被害

り、そして山林そのものがすく荒れてしまう現状になっております。最近ではサルが人に対しての危害の心配やシカ、イノシシによる交通事故が本町でも多発しております。また菜園作りの方の意欲を根底から失わせることになってしまったり、将来の町づくりの基盤が崩れてしまうことに議会としても、真剣に獣害防止を考えているところで

### その対策は万全か！

今年度の鳥獣害関連対策についての予算は約2千855万円余りとなっております。

● 獣害対策組織として今年度には南伊勢町鳥獣害防止総合対策協議会(町、農業委員会、猟友会、その他関係団体で構成)が設置されました。

### 平成20年度 南伊勢町有害鳥獣駆除数

地区	猿	猪	猪(外)	鹿(雄)	鹿(雌)	カラス
南島地区合計	91	57	48	88	71	6
南勢地区合計	108	94	143	96	103	10
南伊勢町合計	199	151	191	184	174	16

### 平成20年度 南伊勢町狩猟実績

地区	猪	鹿(雄)
南伊勢町合計	266	184

### 今後どうなる

昨年度の駆除の実績は

- 駆除した方に対して報酬を配分。
- 猟友会への補助
- 重機の借上げ
- 防獣対策として(主な補助事業)
- 電柵の設置
- 緩衝帯を設ける
- モンキードッグを扱う人材育成

以上の今年度の鳥獣害対策の主なものです。表の通りです。関係者の努力によって相当数の削減が計られました。実感として依然その被害は同じように思います。問題点はイノシシ、シカは努力すれば施設で止まるとは思いますが、サルに関しては防獣の決め手がない状態です。行政として、今後さらに駆除する努力をしっかりと行い、防獣についても効果的な方法により安価な守りができるように努力すべきと考えます。総合的な考え方で関係者を含め行政と地域が協働で対処しなければ解決できないと考えます。



シカの食害で枯れたミカンの木

# 住民の声

## 声

R260の道路標識が、木の枝葉で隠れているので、対応して欲しい。

## 回答（建設課）

三重県の事業であり、順次草刈を行いながら対応していただきます。

## 声

迫間浦トンネル入り口の土砂崩れはいつ復旧するのか？

## 回答（建設課）

三重県の事業であり、現在では測量も済み用地買収中である。まもなく入札が行なわれる予定です。一刻も早く復旧させたいと考えている。



迫間浦トンネル付近の現場



内瀬の処理場

## 声

内瀬の下水処理場は、大津波が来た際に海水が人家へ逆流しないか。防止弁は付いているのか。

## 回答（上下水道課）

下水道の施設（処理場・排水管等）に海水の流入が考えられるのは、唯一放流口からではありますが、海水が人家の公共桟まで到達することは施設の構造上ありえません。マンホールポンプに逆止弁があります。

## 声

くまの灘漁協への損失保証はその後、どうなったのか。

## 回答（産業振興課）

平成20年10月1日付けで、三重県信用漁業協同組合連合会と損失補償契約を締結した件については、平成21年6月30日の契約期間をもって終了しました。

### 議会広報特別委員会

委員長	西 則孝
副委員長	澤村 圭也
委員	岡田 和夫
	太田 久幸
	東 伊久雄

議長 倉田 珠文

議会だよりについてのお問い合わせ等は、議会事務局までご連絡ください。  
0599-661781

真夏の強い日差しの中、保育園、小学校のプールでは元気な子ども達が歓声を上げております。いくつになっても子ども頃の楽しい思い出が浮かんでいますが、現実に生きる私たちにとって元気な子ども達の声に心いやされる反面、「何とかしなければ…」と頑張りの源となります。議会だよりを見ていただき皆様のご意見をお聞かせください。



編集後記